

# 組合ニュース

発行：2025年4月30日

大分大学教職員組合

TEL・FAX：097-554-7998

E-Mail：info@oitauu.sakura.ne.jp

## 2025年度人件費増に対応するための 予算措置に関する申し入れ実施

### 組合が要求した「給与改定説明会」実施される

#### 第5回団体交渉申し入れ実施

2024人事院勧告が財政難を理由に3月実施となり、完全実施されなかったことを受け、前回の団体交渉でも予算措置の要求を行いました。3月7日に2025年度人件費増に対応するための予算措置に関する団体交渉申し入れを行いました。

で当該年度予算を立てる際に検討済みで、それについては各部署の代表者を介して、みなさんから合意をいただいている、という回答を受けたためでした。

法人からの回答は、2024年度と同じ額しか予備費は積み立てられない、というもので、昨年と同程度の上昇の勧告が出た場合、完全実施はできないということでした。

組合からは、財政難はやむをえないとして、他大学で完全実施ができていないのに大分大学でそれができていない理由を説明してほしいと要求しましたが、法人からは、昨年度の団交と同様に、運営費交付金の成果に基づく配分で、研究力が低いために減額がされているという説明がありましたが、成果に基づく配分で仮にマイナス査定がなかったとしても、およそ人件費対応分の人件費が捻出できるわけではなく、法人の財政状況に根本的な要因があるのではないかと指摘しました。結局は法人の説明だとそれぞれの大学の財政状況が違うということで、なぜ大分大学でその予算が捻出できないのかについての的を射た回答は得られませんでした。より深刻な状況として、教職員ともに人員が削減されているなかで、「改革」のための組織替えに力を割かざるを得ず、とうてい研究に力を避ける状況にないこと、それによって優秀な若手研究者の流出が続いていること、人件費完全実施ができなければその流れに拍車をかけることを指摘しましたが、一応、それについては問題であることを認識しているということでした。

大分大学学長  
北野 正剛 殿

2025年3月7日

大分大学教職員組合  
執行委員長 芝原 雅彦



#### 2025年度人件費増に対応するための予算措置に関する申し入れ

日頃より大分大学の充実発展のためにご尽力されていることに敬意を表します。さて、本年も引き続き人事院による給与増額の勧告が行われることが見込まれます。昨年は過半数の国立大学が人事院勧告に準拠し給与改定を4月適及したのに対し、大分大学はこれに対応することができておりません。本年は人事院勧告に準拠した給与水準を確保するための人件費の予算措置を求めます。

#### 第5回団体交渉報告

組合からの申し入れを受け、3月24日に第5回団体交渉を行いました。2025年度も人勸で給与の大幅な上昇が見込まれることから、人勸を完全実施できるように2025年度予算で人勸対応分を予備費で計上してもらえよう、団体交渉をしました。

こうした交渉をすることになった経緯は主に2つあります。1つは、2024年度団交において、財政難により人勸を完全実施できないという回答だったことです。もう1つは、その際の法人からの説明で、人勸対応予算が十分に積み立てできていないことについては、予算委員会

## 給与改定説明会実施される

2025年3月13日、教職員に対して、給与改定に関する説明会が開催されました。給与改定に関する説明会の開催は、団体交渉において組合が法人に求めていた内容です。説明会が開催されたことについては、団体交渉の成果として評価できると思います。

一方、法人の説明は、運営費交付金の減額、大学収入の低さ、実績状況に基づく配分の低さなどから、大学運営は厳しい財政状況であり、人勧に対応できないといった内容でした。また、人勧に対応しない国立大学は45%に上っているとし、本学が特例ではないといった主張でした。

しかし、今年度のように大きな影響額が見込まれる人勧に対して、準拠できている国立大学が55%あること、また、運営費交付金の減額などは、他大学においても同様であることから、なぜ本学は対応できないのか、具体的な説明はありませんでした。人勧を実施できない状況は、運営費交付金の減額等ではなく、本学の予算計画・運用が不十分であったことが要因と思われます。

これらを踏まえ、法人には、人勧に完全準拠できた大学の調査をすることならびに大分大学での予算の運用について十分な議論が必要であることを訴えていきたいと考えます。

さらに、団体交渉では詳細についての説明はありませんでしたが、今回の説明会において号給の大きくくり化や昇格時の本給上昇幅の拡大、号俸の切り替え等について資料を用いて具体例をあげて説明が行われました。改正時点では対象教職員に対し「なかったものとした昇格」の算出を行い、概ね不利益になるケースはないということを確認しました。しかし、長期的には、評価の仕方等によっては不利益が生じる恐れもあることから、今後注視する必要があります。

その他、年俸制の教職員についても以下の給与改正の説明が行われました。

・年俸制適用教員（国立大学法人大分大学年俸制適用教員給与規程が適用される教員）の基本年俸額引上げ。

- ・嘱託職員の本給月額引上げ。
- ・特任教員の本給月額引上げ。
- ・医員の日給額引上げ。
- ・職域限定職員の年俸額表の見直し。業績評価等による年俸額の見直しを3年ごとから1年ごとに変更。

引き続き組合としては、賃上げの社会情勢や物価高に相応しい待遇について交渉を進めていきたいと思っております。

## なごみカフェを開催しました

3月27日の昼休みに、第21回なごみカフェを開催しました。

経済学部 田村哲也さんが「ChatGPTと戯れてみる—研究者として、教育者として、そして労働者として—」と題してお話をしてくださいました。昨今、急速に“かしこく”なっているように見えるChatGPTの“始め方”にはじまり、実際にChatGPTと対話しながら、その文章生成の仕組みを解説していただきました。12名の参加者との質疑応答を含めつつ、ChatGPTの得意な事例・不得意な事例の分析や、事務的な業務における利活用の可能性、大学生の利用にどう対応するかといった教育者としての課題にも踏み込んだ、たいへん充実した内容でした。

昼食をとりながらの短い時間でしたが、文字通り“戯れてみる”＝実演を伴う話題提供をくださったおかげで、参加者ひとりひとりの業務や関心に紐づけての会話が交わされ、なごやかなよい時間となりました。



## 新人歓迎会を開催しました！

4月23日、生協食堂にて毎年恒例の「春の新人歓迎会」を開催しました。今年度は新たに大分大学に赴任された教職員の皆さまをお迎えし、総勢30名が参加するにぎやかな会となりました。

会場では、生協特製の彩り豊かな豪華オードブルがふ

るまわれ、春らしい華やいだ雰囲気の中で、日ごろの疲れを癒やしながらか、参加者同士の交流が深まりました。

また、毎年好評の〇×クイズ大会も大盛況。今年初の試みとして、豪華景品に“季節のフルーツ”が登場しました！見た目にも鮮やかで、思わず笑顔がこぼれるようなラインナップに、会場も大いに盛り上がりました。フルーツが景品になるのは今回が初めてのことで、「こんな景品もいいね！」との声も多数いただきました。

新しく赴任された方々とのご挨拶や歓談を通して、和やかで温かい交流のひとつときを過ごすことができました。春の訪れとともに、新たな仲間を迎える喜びを分かち合えたことに、心から感謝申し上げます。

今後もこうした交流の機会を大切にしながら、組合員のつながりを深めていきたいと思ひます。



## 非常勤職員部会 ランチタイム コーヒーと働き方相談会

4月16日のお昼休みの時間帯に開催しました。敷戸駅から徒歩5分のSebastian Coffeeのすばらしいスペシャルティコーヒーを堪能しながら、組合からはこれまでのとりくみについて説明をし、参加した方々と交流しました。参加者からは、無期転換、キャリアアップについて関心があるということや、その制度について雇入れ時に説明が十分にされておらず、よく理解できていない、ということをお伺ひしました。今回はおかげさまで15名もの方にご参加いただきました。今後も昼休みにほっと一息できる働き方相談会を実施する予定で、個別の相談をじっくり伺うことができるような会にしたいと考えています。



## 太極拳を始めてみませんか？

組合主催の太極拳教室を始めます。

太極拳はいつでもどこでも何歳になっても気軽にできるスポーツです。昼休みの短い時間ではありますが、太極拳を体験してみませんか？初心者の方も楽しめるようストレッチ、深呼吸を中心にを行います。

毎週火曜日の昼休みに実施予定です。

1回目は5月13日（火）です。みなさまのご参加をお待ちしております。



### 太極拳教室のご案内

- 日 時：毎週火曜日 12：15～12：50
- 場 所：学生会館3階（一度、組合室に集合してください）
- 参加費：無料
- 講 師：小山敬晴さん  
（組合副委員長・経済学部教員）
- 飲み物・タオル等は各自ご持参ください
- 普段着のまま大丈夫です
- 主 催：大分大学教職員組合